

開校記念日に寄せて

北海道札幌北高等学校

平成二十四年（二〇一二年）五月二十日に本校は百十四目の開校記念日を迎えました。明治三十五年（一九〇二年）のその日に思いを馳せ、本校の歴史と伝統の重みについて考えてみて下さい。

わたしたちの先輩

森田たま（明治二七年～昭和四五年）

小説家、随筆家、札幌市生まれ。
明治四〇年庁立高等女学校に入学も病弱のため三年で中退。その後明治四四年に上京し、森田草平に師事し小説を書き始める。

大正二年小説『片瀬まで』、昭和七年随筆『着物・好色』を発表する。昭和一年に発表した『もめん随筆』は多くの女性の共感を呼び「現代の清少納言」といわれる。

昭和三年から四三年まで参議院議員として活躍。
代表作の小説『石狩少女』は庁立高女時代の半自叙伝である。

素木しづ（明治二八年～大正七年）

小説家、札幌市生まれ。

明治四四年庁立高等女学校卒業。森田たまと共に雑誌『少女世界』の常連投稿家だった。卒業後上京し森田より少し遅れて森田草平の門をくぐる。虚弱体質で、四年生の時に結核性関節炎にかかりその後右足を切断する。

大正二年『松葉杖をつく女』を発表。大正五年『たそがれの家の人々』が広津和郎に絶賛される。

大正六年『美しき牢獄』を発表。翌年二三歳の生涯を閉じる。

松本春子（明治三三年～平成元年）

かな書家、帯広市生まれ。

大正二年庁立高等女学校入学。昭和六年尾上柴舟に師事して平安朝仮名を学ぶ。

昭和二年第八回泰東書道展特選、昭和十五年第十回泰東書道展銅牌受賞し特別会員待遇となる。

「さわらび会」を創立し、かな書道の普及、育成に努める。

藤女子専門学校で教え、また七年間藤女子大学教授を務める。「毎日書道展」など、かな部門で活躍。

校長室の校訓は松本春子の筆による。

片岡球子（明治三八年～）

画家、札幌市生まれ。

大正七年庁立高等女学校入学。卒業後、女子美大に入学する。

昭和五年日本美術院再興第一七回展で「枇杷」が初入選。昭和二年日本美術院再興第三二回展で「夏」により日本美術院賞受賞。

昭和五年秋の叙勲で勲三等瑞宝賞を受賞。昭和五七年日本芸術院会員。昭和六一年文化功労者に叙せられる。平成元年文化勲章を受賞する。

代表作に足利尊氏や上杉謙信ら歴史を飾る男たちを描いた「面構（つらがまえ）」シリーズがある。

校長室には片岡球子氏の独特の筆遣いで描かれた絵が飾られている。

福井爽人（昭和二二年～）

画家、旭川市生まれ。

昭和二九年札幌北高等学校転入学。日大芸術学部造形専攻に入学。その後、平山郁夫との出会いにより日本画家を目指し大学を中退。昭和三六年東京芸術大学美術学部絵画科日本画専攻に入学。

昭和四〇年日本美術院展初入選。昭和五八年「多宝物」で春季展賞、「風歴」で日本美術院賞受賞。昭和六三年『福井爽人

画集』を刊行する。

平成三年より平成一七年まで東京芸術大学教授。新校舎の中央吹き抜けの壁面には福井氏の作品「彩風の刻」で陶板のレブリカを作って飾る予定である。

藤堂志津子（昭和二四年～）

作家、札幌市生まれ

札幌北高等学校卒業。

一九才の時、詩集『砂の憧憬』刊行、その後も小説を数編発表。

昭和六二年『マドンナのこゝろ』で北海道新聞文学賞受賞、平成元年『熟れてゆく夏』により第一〇〇回直木賞受賞。平成二年札幌市民芸術賞、平成一五年には『秋の猫』で第一六回柴田錬三郎賞受賞。

小川マリ（明治三四年～平成一八年）

洋画家、札幌市生まれ。

庁立札幌高等女学校卒業。東京女子大に進み、卒業後は大蔵省職員として勤務。身近な武蔵野風景などに魅せられ、独学で絵を描き始め、三二年（昭和七年）、独立美術協会展に初入選。二八年ごろから画業に専念した。第二次大戦中に札幌に疎開し、四五年八月に洋画家三雲祥之助さん（八二年死去）と結婚、夫婦で全道美術協会（全道展）創立に参加した。札幌洋画研究所の講師も夫婦で務め、後進を指導。その後東京に戻り、春陽会に出品し、五〇年に女性初の同会会員。北海道が輩出した女性洋画家のトップとして活躍した。

参考資料

『写真・映像で見る北高の一〇〇年 針槐樹』
『さっぽろ文庫 35 女学校物語』

札幌飛行場跡地

現在の札幌北高校は札幌飛行場の跡地に建っています。札幌飛行場の前身は旧北海タイムス社（現在の北海道新聞社）が設置した飛行場でしたが、その後、通信省が拡充整備し、道内初の東京間定期便が往復する飛行場となりました。一九四五（昭和二〇）年に閉鎖され現在は門柱のみが残っています。北二四条西八丁目には札幌飛行場正門跡の二本の門柱とその間に建立された「風雪」碑があります。この碑は一九八七（昭和六二）年に彫刻家の故坂担道が門門柱だけではさびしすぎるということで製作したものです。

札幌飛行場

『さっぽろ文庫・別冊 札幌歴史写真集（昭和編）』より



札幌飛行場正門跡と「風雪」碑
『新・北区エピソード史』より

参考資料『さっぽろ文庫 45 札幌の碑』